

原議保存期間	30年(令和37年3月31日まで)
有効期間	一種(令和17年3月31日まで)

警察庁丁運発第65号  
令和7年2月28日  
警察庁交通局運転免許課長

各管区警察局広域調整担当部長  
警視庁交通部長  
各道府県警察本部長  
各方面本部長  
殿  
(参考送付先)  
警察大学校交通教養部長  
科学警察研究所交通科学部長

運転免許技能試験に係る採点基準の運用の標準について(通達)

運転免許技能試験の採点については、「運転免許技能試験に係る採点基準の運用の標準について(通達)」(令和6年10月22日付け警察庁丁運発第215号)により、道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令(令和6年内閣府令第60号)等の施行に伴う所要の改正を行い、令和7年4月1日から運用開始する予定であったところ、この度、道路交通法の一部を改正する法律(令和4年法律第32号)の施行に伴う所要の改正を加えた上で令和7年4月1日から運用することとしたので、事務処理上遺憾のないようにされたい。

なお、前記通達及び「運転免許技能試験に係る採点基準の運用の標準について(通達)」(令和7年2月28日付け警察庁丁運発第64号)は、令和7年4月1日をもって廃止する。

【 減点適用基準】

減点細目	減点数		適用事項	備考
	路上	場内		
安全措置不適 [措置]	5	5	<p>安全措置をしない次の場合</p> <p>1 大型自動二輪車（以下「大型二輪車」という。）及び普通自動二輪車（以下「普通二輪車」という。）以外の自動車（以下「四輪車」という。）について</p> <p>(1) 運転席のドア（バス型車両にあっては前部ドア又は中央ドア）を完全に閉めないで走行したとき。[ドア]</p> <p>(2) 発進時、後写鏡又は後方等確認装置（以下「後写鏡等」という。）が合っているかどうかを確認しないとき又は明らかに合っていない状態で走行したとき。[鏡]</p> <p>(3) ギアが入ったままクラッチを切らないで、エンジンを始動したとき。[ギア]</p> <p>(4) ハンド（駐車）ブレーキを戻さないで走行したとき。[手B]</p> <p>(5) オートマチック・トランスミッションその他のクラッチの操作を要しない機構がとられておりクラッチの操作装置を有しない自動車（以下「AT車」という。）で、フットブレーキ又はハンド（駐車）ブレーキを用いずにエンジンを始動したとき。[B]</p> <p>(6) AT車で、停止中にフットブレーキ又はハンド（駐車）ブレーキを用いずにチェンジレバーを操作したとき。[A変速]</p> <p>(7) 大型特殊自動車（以下「大特車」という。）を走行状態にする場合に、作業機具を地上からおおむね0.5メートル上げないとき。[機具]</p>	この細目については、走行、発進、始動又は操作しようとした場合に適用し、注意を与える。
	10	10	(8) シートベルトを着用しないとき。[帯] (71の3)	
	—	5	<p>2 大型二輪車及び普通二輪車（以下「二輪車」という。）について。</p> <p>(1) 発進時、後写鏡が合っているかどうかを確認しないとき。[鏡]</p> <p>(2) サイドスタンドを戻さないとき。[スタンド]</p> <p>(3) ギアが入ったままクラッチを切らないでエンジンを始動したとき。[ギア]</p>	

運転姿勢不良	[四輪姿勢]	5	5	<p>四輪車の運転中、正しい姿勢をとらない次の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 シートの調節をしなかったため又はシートの調節が不適切なため、不自然な姿勢のとき。[席]</li> <li>2 ハンドルに正対していないとき。 [正対]</li> <li>3 直進中に、ハンドルの下側だけを保持し又は片手でハンドルを保持しているとき。[保持]</li> <li>4 カーブのたびに両腕を交差したままハンドルを保持しているとき。[腕]</li> <li>5 ハンドル操作のたびに上体を著しく横に傾けるととき。[上体]</li> <li>6 ブレーキペダルへの足のかけ方が、常時不適切なとき。[足]</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 この細目の適用は、[四輪姿勢]及び[二輪姿勢]のそれぞれの各項について1回とする。</li> <li>2 [二輪姿勢]の第2項は、スクーター型その他の構造上ニーグリップをすることができない二輪車については適用しない。</li> </ol>
	[二輪姿勢]	—	10	<p>二輪車の運転中、正しい姿勢をとらない次の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 着座位置が不適切なため不自然な姿勢のとき。[席]</li> <li>2 必要な場合にニーグリップをしないとき。[ひざ]</li> <li>3 足先の向き又はステップバー等への足のかけ方が常時不適切なとき。[足]</li> <li>4 ハンドルグリップの保持が不適切なとき。[手]</li> <li>5 前・後輪ブレーキレバーを常時二本以下の指で操作しているとき。[指]</li> <li>6 ひじを張っているとき。[ひじ]</li> <li>7 直線狭路台を着座姿勢を保たないで走行したとき。[着座]</li> <li>8 波状路コースを立ち姿勢（スクーター型の二輪車は着座姿勢）を保たないで走行したとき。 [立ち（着座）姿勢]</li> </ol>	
アクセルむら [Aむら]		⑤	⑤	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アクセルのふかしすぎ、クラッチの急接その他発進操作不良のため、おおむね0.4Gを超える加速度を生ずる発進をした場合 [急発]</li> <li>2 アクセル若しくはクラッチの操作不良又は変速操作不良のため、車体ノックを生じた場合 [ノック]</li> <li>3 操作不良のため、おおむね3,000回転を超える空ふかしを生じた場合 [空転]</li> </ol>	<p>第二種免許においては、加速度の基準を0.3Gとする。</p>
				<p>操作不良のため、エンジンが停止した場合</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次の場合は適用しない。 (1) [脱輪大]防止時のエンスト</li> </ol>

					(2) 指定速度からの急停止における停止時のエンスト 2 次の場合は危険行為として試験中止とする。 (1) 踏切内のエンスト (2) 直線狭路台、連続進路転換コース、波状路コースを走行中のエンスト
エンスト		⑩	⑤		
逆行	小	10	10	停止した地点から進行しようとする反対方向に、おおむね0.3メートル以上0.5メートル未満進行した場合	1 発進ギアを間違えて逆行した場合も適用する。 2 同一場所(停止後完全に発進できるまでの間)で逆行を繰り返した場合は、おおむね0.3メートル未満のものを含め総延べ距離によって適用する。
	中	20	20	停止した地点から進行しようとする反対方向に、おおむね0.5メートル以上1メートル未満進行した場合	
	大	危	危	1 停止した地点から進行しようとする反対方向に、おおむね1メートル以上進行した場合 2 逆行がおおむね1メートル未満でも危険な場合	
発進手間どり		⑩	⑤	発進時機の判断不良又は操作不良のため、発進に手間どった次の場合。ただし、発着点では適用しない。 1 通常発進すべき状況の時から、おおむね5秒以内に発進しないとき。 2 正常な発進及び走行をした前車に続いて発進できる状況にもかかわらず、前車がおおむね15メートル以上進行しても発進しないとき。 3 エンスト後おおむね5秒以内にエンジンを始動させないとき。	1 不要に停止し、かつ、速やかに発進しない場合も適用する。 2 適用後注意を与える。
発進不能		危	危	1 おおむね一車長の間でエンストを4回生じた場合 [4回] 2 青信号で発進しようとしたが操作不良(エンストを含む。)のため、その青信号の間停止し又は停止しているおそれのある場合 [信号] 3 優先車待ちの判断不良又は信号に対する判断不良のため、発進できる状況にもかかわらず不要に停止をしていることにより、周囲の交通に迷惑を及ぼし又は及ぼすおそれのある場合 [停止] 4 明らかな技量未熟のため、おおむね1	1 この細目は、左欄第1項を除き [発進手間どり] の細目を適用し、注意を与えた後に、左欄に該当した場合に適用する。 2 左欄第1項のエンストの回数には、[脱輪大] 防止時のエンス

			分を過ぎても発進できない場合 [発進]	ト及び「指定速度からの急停止」の課題における停止時のエンストを含む。	
指定時間過不足	—	5	<p>1 前車輪の接地面部の一部が、直線狭路台の平坦部にかかっているから傾斜部にかかるまでの所要時間が、大型二輪車にあつては10秒未満、普通二輪車にあつては7秒未満、小型二輪車（総排気量0.125リットル以下の原動機を有する普通二輪車をいう。）にあつては5秒未満の場合 [台]</p> <p>2 前車輪の接地面部の一部が、連続進路転換コース入口のロード・コンにさしかかっているから出口のロード・コンにさしかかるまでの所要時間が、大型二輪車にあつては7秒を超え、普通二輪車にあつては8秒を超えた場合 [連]</p>	時間不足又は時間超過の場合は1秒ごとに適用する。1秒未満の端数は1秒とみなす。	
速度維持	[課題外速度]	⑩	⑩	<p>道路及び交通の状況に応じた加速が不適切な次の場合</p> <p>1 通常出し得る速度に達するのが遅いとき。</p> <p>2 通常出し得る速度を維持しないとき。</p>	<p>1 加速不良のため、その道路の最高速度又は通常出し得る速度よりおおむね5キロメートル毎時以上遅い速度で走行しているため交通の流れを妨げるおそれがある場合には、適用後注意を与える。</p> <p>2 [通行帯違反(低速)]を適用した場合は適用しない。</p>
	[課題速度]	—	10	<p>1 試験課題履行条件（「指定速度からの急停止」を除く。）による速度指定区間を、指示速度よりおおむね5キロメートル毎時以上遅い速度で走行した場合 [区間]</p> <p>2 「指定速度からの急停止」の課題において、指定速度に達しない速度で急制動開始線にさしかかった場合又は急制動開始線では指定速度になっていたが、その手前から制動を始めた場合 [急停止]</p>	<p>1 速度指定区間は、試験前に行う指示のほか現場で再指示する。</p> <p>2 左欄第2項を適用した場合は、1回に限り試験課題のやり直しをさせること。</p>
指定速度			「指定速度からの急停止」の課題において、[課題速度（急停止）]を適用したものについてやり直しをしたが、再び指定速度		

到達不能 [到達不能]		—	危	に達しない速度で、急制動開始線にさしかかった場合又は急制動開始線では指定速度になっていたが、その手前から制動を始めた場合	
合図不履行等	[発進合図]	5	5	路端から発進する場合 1 方向指示器を操作しないとき。 [しない] 2 発進後の進路変更が終わるまで合図を継続しないとき。[続] 3 発進後の進路変更が終わっても合図をやめないとき。[もどし]	<p>1 この細目は、他の交通に迷惑を及ぼすおそれのある場合については適用後、注意を与える。</p> <p>2 コース規模又はコースの設定方法により、進路変更又は右左折する場合の合図が規定された時間及び距離で行うのが無理なときは、進路を変える前及び右左折する前に行えば適用しない。</p> <p>3 狭路コース（曲線コース、屈折コース、方向変換コース、縦列駐車コース及び鋭角コースをいう。以下同じ。）から出る場合は、出口の手前までに合図を行えば適用しない。</p> <p>4 路上試験の課題における縦列駐車の際の[発進合図]及び方向変換の[右左折合図]については、道路において行わない場合であっても、減点数は路上のものを適用する。</p>
	[変更合図]			進路を変更する場合 1 進路変更の合図をしないとき。 [しない](53) 2 進路変更が終わるまで合図を継続しないとき。[続](53) 3 進路変更が終わっても合図をやめないとき。[もどし](53) 4 合図をした時機が遅い又は著しく早いとき。[不適](53)	
	[右左折合図]			⑤ 右折（転回を含む。以下この細目で同じ。）又は左折をする場合 1 右折又は左折の合図をしないとき。 [しない](53) 2 右折又は左折が終わるまで合図を継続しないとき。[続](53) 3 右折又は左折が終わっても合図をやめないとき。[もどし](53) 4 合図をした時機が遅い又は著しく早いとき。[不適](53)	
	[環状合図]			— 環状交差点を出る場合 1 環状交差点を出る合図をしないとき。 [しない](53) 2 環状交差点を出るまで合図を継続しないとき。[続](53) 3 環状交差点を出ても合図をやめないとき。[もどし](53) 4 合図をした時機が遅い又は著しく早いとき。[不適](53)	
				1 路端から発進する直前に、直接目視により右後方及びその他周囲の安全を確認しない場合、また、バス型の車両において交差点等での発進の際に、直接目視又は後写鏡等により車両の内外の安全を確認しない場合 [発進]	1 左欄第1項は、大型車その他直接目視が不適当な車両の場合は、後写鏡等の死角を直接目

安全不確認  
[不確認]

10

10

- 2 後退する直前に、後退する場所及び方向の安全を直接目視により確認しない場合[後退]
- 3 後退中に、側方又は後退する方向の安全を直接目視により確認しない場合[周囲]
- 4 四輪車で左折しようとする直前に、直接目視又は後写鏡等により車体の左側方の安全を確認しない場合 [巻き込み]
- 5 進路を変えようとする場合（転回を含む。）に、直接目視及び後写鏡等により、変えようとする側の側方及び後方の安全を確認しないとき。[変更]
- 6 交差点（環状交差点を除く。以下この項において同じ。）に入ろうとし又は交差点内を通行する場合に、交差点の状況に応じ交差道路を通行する車両等（車両又は路面電車をいう。以下同じ）、反対方向から進行してきて右折する車両等又は交差点若しくはその直近で道路を横断する歩行者若しくは軽車両に対する安全の確認をしないとき。[交差点](36)
- 7 環状交差点に入ろうとし又は環状交差点内を通行する場合に、環状交差点の状況に応じ環状交差点に入ろうとする車両等、環状交差点内を通行する車両等又は環状交差点若しくはその直近で道路を横断する歩行者若しくは軽車両に対する安全の確認をしないとき。[環状交差点](37の2)
- 8 走行中に後写鏡等による後方の確認を全くしない場合（進路変更又は後退時の後方確認を除く。)[後方]
- 9 踏切に入る直前に、安全を確認するため運転者側の窓を開け、かつ左右を直接目視しない場合 [踏切](33)
- 10 走行中に、計器類、モニター、車外の一点等に気を奪われ脇見をしていた場合又は歩行者、車両等その他の障害物に接近した場合若しくは物かげで見とおしのかかない場合に脇見をしたとき。[脇見]
- 11 四輪車で降車時等のドアを開けようとする場合に、直接目視をして後方を確認しないとき。[降車](71)
- 12 大型自動車（以下「大型車」という。）、中型自動車又は牽引するための構造及び装置を有する自動車で道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第51条の4第1項の重被牽引車を牽引しているもの（以下「牽引車」という。）において、路端から発進する場合又は右左折する場合等に、直接目視又は後写鏡等により、ハンドルを切る側と反対側後方の安全を確認しないとき。[振出]

視すれば、右後方については後写鏡等で確認しても適用しない。

- 2 左欄第2項、第3項及び第11項については、大型車その他直接目視が不適当な車両の場合、後写鏡等及びモニターにより確認をすれば適用しない。
- 3 左欄第5項については、後写鏡等の死角を直接目視すれば、後方については後写鏡等により確認しても適用しない。また、左に進路を変えようとする場合で大型車その他直接目視が不適当な車両のときは、後写鏡等のみで確認をしても適用しない。
- 4 左欄第8項については、試験中を通じ1回限りとする。
- 5 左欄第9項については、特定後写鏡等を使用しなければならない者にあつては、窓を開けなくても適用しない。

	<p>惰力走行 [エンブレ]</p>	<p>⑤</p>	<p>⑤</p>	<p>1 ブレーキをかける以前又はブレーキをかけるのと同時に動力の伝達を断つなどして惰力走行をした場合 [断] 2 変速操作の前後で不必要な惰力走行をした場合 [前後]</p>	<p>この細目([坂]を除く。)の適用速度は、おおむね30キロメートル毎時以上とするが、場内試験における速度指定区間の指示速度が40キロメートル毎時未満の場合は、指示速度からおおむね10キロメートル毎時減じた速度以上とする。ただし、積雪、凍結等路面状態が著しく悪い場合はおおむね15キロメートル毎時以上とする。</p>
		<p>5</p>	<p>5</p>	<p>走行速度に関係なく下り坂で惰力走行をした場合及びAT車で下り坂(場内コースを除く。)をDレンジのまま走行した場合 [坂]</p>	
<p>制動操作不良</p>	<p>[ブレーキ]</p>	<p>⑤</p>	<p>⑤</p>	<p>1 道路及び交通の状況に応じ、制動の必要が予測される状況(法令に基づく徐行場所又は徐行すべき場合を含む。)にもかかわらず、ブレーキペダルに足を移して制動の構えをしない場合(二輪車では、ブレーキレバーに指を掛けて制動の構えをしない場合を含む。)[構] 2 交通の状況に余裕があるにもかかわらず、ブレーキの断続操作(制動合図及び制動を早めに行い、かつ、車輪ロックを防止し、円滑な制動を行うため、ブレーキペダル等を徐々に弱く、2～3回以上に分けて使用すること。)をしない場合。ただし、指定速度からの急停止の場合には適用しない。[断] 3 信号待ち等で暫時停止している間にブレーキを効かせていない場合又はハンド(駐車)ブレーキをかけない場合 [待] 4 路端への停車及び発進の課題における停車時に、ギアをニュートラル(AT車はPレンジ)とせず、ハンド(駐車)ブレーキをかけず、又はブレーキペダル等によるブレーキを効かせていない場合 [停車] 5 二輪車で、ブレーキペダル側の足で車体を支えながら発進した場合又は停止時に、ブレーキペダル側の足で車体を支えた場合 [支] 6 ブレーキのかけ方が強すぎるため、おおむね0.4Gの加速度を生じた場合。ただし、脱輪又は接触を防止するための場合は適用しない。[不円滑]</p>	<p>1 左欄第1項に該当し、かつ、[警報]に該当した場合は[警報]のみを適用する。 2 左欄第2項の適用速度は、制動初速度がおおむね30キロメートル毎時以上とする。ただし、速度指定区間の指示速度がおおむね30キロメートル毎時以下のコース規模にあつては、おおむね20キロメートル毎時以上とする。 3 左欄第5項は、ブレーキペダルを有しない二輪車については適用しない。 4 左欄第6項は、変速操作不良による場合にも適用し、第二種免許においては、加速度の基準を0.3Gとす</p>

					る。
	[クリープ]	10	5	停止状態を保持すべき場合に、クリープ現象のためおおむね0.3メートル以上移動したとき。	この細目は、現象が生じたその都度適用する。
速度速過ぎ [速過ぎ]	小	10	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路及び交通の状況に適した安全速度よりおおむね5キロメートル毎時未満速い場合 [速い]</li> <li>2 カーブでおおむね0.3G以上0.4G未満の横加速度を生じた場合 [カーブ]</li> <li>3 波状路コースにおいて、明らかに速い速度で走行した場合 [波]</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法令に基づく徐行場所又は徐行すべき場合でこの細目の[小]又は[大]に該当したときはいずれも[徐行]を適用する。</li> <li>2 最高速度又は速度指定区間における指示速度の超過は[速度超過]の細目を適用する。</li> <li>3 左欄[小]第3項でいう「明らかに速い速度」とは、前車輪の接地面部の一部が波状路突起部の始端にかかってから終端にかかるまでの9.5メートルの区間をおおむね5秒未満で走行した場合をいう。</li> <li>4 第二種免許においては、横加速度の基準を0.1G減じた値とする。</li> </ol>
	大	20	20	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路及び交通の状況に適した安全速度よりおおむね5キロメートル毎時以上速い場合 [速い]</li> <li>2 カーブでおおむね0.4G以上の横加速度を生じた場合又はカーブ手前の直線部分での制動時機が遅れブレーキをかけながらカーブに入った場合若しくはカーブに入ってからブレーキをかけた場合 [カーブ]</li> </ol>	
急停止区間超過 [区間超過]	—	—	危	「指定速度からの急停止」の課題で、急停止限界線から前車輪の接地面部がはみ出した場合	
暴走		危	危	ブレーキ、ハンドル等のコントロールを失い危険な場合	
				四輪車で切り返しをしないで通過しなければならないにもかかわらず切り返しをした場合又は「縦列駐車」、牽引車の「方向変換」、「隘路への進入」若しくは「路端における停車及び発進」の課題で、場内試験の試験課題履行条件が満たされないため試験官の指示を受け若しくは受験者の判断で切り返しをした場合。ただし、同一の狭路	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前進の場合は後退した回数について、後退の場合は前進した回数について適用する。</li> <li>2 脱輪又は接触した場合の復帰</li> </ol>

切り返し	10	5	コース（鋭角コースを除く。）の入口から出口までの間、隘路への進入又は路端における停車及び発進における1回及び鋭角コースの入口から出口までの間は適用しない。	する行為は、〔脱輪〕又は〔接触〕の細目に吸収して適用する。 3 縦列駐車コースの入口から出口までとは、駐車のための後退を開始してから駐車を完了して駐車範囲から車体の全部が出るまでとする。	
急ハンドル	10	10	1 四輪車で走行中、急激なハンドル操作をしたためおおむね0.3Gを超える横加速度を生じた場合〔急〕 2 二輪車で走行中、不必要に車体をバンクさせて進路を変えた場合〔バンク〕 3 二輪車で走行中、バンクをつけ過ぎたため車体の一部を接地させた場合〔接地〕	1 この細目を適用した場合は〔速過ぎ〕の細目は適用しない。 2 第二種免許においては、横加速度の基準を0.2Gとする。	
ふらつき	小	10	10	1 ハンドル操作不良のため次の状態になった場合 (1) 左右に車幅のおおむね2分の1未満の幅でおおむねS字状（長いS字状になったときを含む。）になったとき。〔S〕 (2) 右又は左のいずれかに車幅のおおむね2分の1未満の幅でおおむね半円状になったとき（カーブで車幅のおおむね2分の1未満の幅が正常な走行軌跡から外れて走行したときを含む。）。〔半〕 2 二輪車で、バランスをくずした次の場合〔バランス〕 (1) ふらついたとき。 (2) バランスのくずれをたて直すため、足を接地したとき。 (3) 直線狭路台を走行中に、ステップバー等から足を離したとき。	直線狭路台、連続進路転換コース又は波状路コースを走行中に足を接地した場合は「通過不能」の細目を適用し、曲線コース及び屈折コースの入口から出口までの間におけるそれぞれ1回の足の接地については、左欄第2項第2号は適用しないものとする。
	大	危	20	ハンドル操作不良のため次の状態になった場合 1 左右に車幅のおおむね2分の1以上の幅でおおむねS字状（長いS字状になったときを含む。）になったとき。〔S〕 2 右又は左のいずれかに車幅のおおむね2分の1以上の幅でおおむね半円状になったとき（カーブで車幅のおおむね2分の1以上の幅が正常な走行軌跡から外れて走行したときを含む。）。〔半〕	

転倒	—	危	二輪車で車体を横倒しにした場合又はバランスを失い車体が横倒しになるのを防止するため、足を接地して支えた場合	停止中の場合も適用する。
通過不能		危 危	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 四輪車で狭路コースの入口から出口までの間において、又は隘路への進入若しくは路端における停車及び発進の課題において、試験課題履行条件が満たされなため切り返し（脱輪又は接触した場合の復帰する行為を含む。）を4回行った場合〔4回〕</li> <li>2 路上試験の道路において判断不良又は操作不良のため、おおむね同一場所で切り返し（脱輪した場合の復帰する行為を含む。）を2回行った場合〔路上〕</li> <li>3 二輪車で次に該当した場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 直線狭路台に乗れないとき又は直線狭路台を走行中にエンスト若しくは足を接地したとき。〔台〕</li> <li>(2) 連続進路転換コースを順に通過できないとき又は連続進路転換コースを走行中にエンスト若しくは足を接地したとき。〔連〕</li> <li>(3) 波状路コースを走行中にエンスト若しくは足を接地したとき。〔波〕</li> <li>(4) 曲線コース又は屈折コースを通過できなくなり停止したとき。〔狭〕</li> </ol> </li> </ol>	縦列駐車コースの入口から出口までとは、駐車のための後退を開始してから駐車を完了して駐車範囲から車体の全部が出るまでとする。
停止位置不適 〔停止位置〕	5	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法令に基づく停止線（一時停止の指定場所で停止線のない場合は交差点）の手前からおおむね2メートル以上手前で停止した場合〔線〕</li> <li>2 停止目標物（ポール等）から、車体の指定箇所が前方又は後方に離れて停止した次の場合〔前・後〕 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 場内試験の走行終了時並びに路端における停車及び発進の課題における初回の停車時は、おおむね0.3メートル以上離れたとき。</li> <li>(2) 路上試験の路端への停車及び発進の課題における停車時は、指定されたドア幅のおおむね2分の1を超えて離れたとき。</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一時停止指定場所又は踏切の停止線のおおむね2メートル以上手前で停止した場合は、停止している前車のないときに限り注意を与えて適用し、停止線の手前2メートル未満で再停止しない場合は、不停止とする。</li> <li>2 路端における停車及び発進の課題における左欄第2項第1号の適用は、初回の停車時のみとする。</li> </ol>
			四輪車が左折する場合又は環状交差点に入る場合に、巻き込み防止のため次の措置をしない場合	左欄第2項は、道路左側端からおおむね1メートル

<p>巻き込み防止措置不適 [巻き込み]</p>	<p>10</p>	<p>5</p>	<p>1 進行方向の交差点の直前に二輪車（軽車両を含む。以下この細目で同じ。）がある場合又は二輪車と並行した場合にその二輪車を先発又は先行させないとき。 [二輪]</p> <p>2 交差点の手前で二輪車が試験車の左側を追い抜くのを防止するため、交差点の手前からおおむね30メートル以上手前で進路を変えたが、できるだけ道路の左側端によらないとき。[離]</p>	<p>以上離れている場合に適用する。ただし、適用に当たっては、交通状況、道路状況等を考慮すること。</p>
<p>側方等間隔不保持 [側方間隔]</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>1 対向車との行き違い、前車の追い抜き又は駐停車車両、建造物その他の障害物（歩行者並びに特定小型原動機付自転車及び軽車両を除く。）の側方通過時に、試験車との側方間隔を保たず又は保とうとしない次の場合。ただし、やむを得ない状況のため所定の間隔を保てない場合には適用しない。 (1) 移動物又は人が乗車していることが予想される駐停車車両等の可動物と、おおむね1メートル以上の間隔を保たず又は保とうとしないとき。 [移・可]</p> <p>(2) 建造物、人が乗車していないことが明らかな駐車車両等の不動物と、おおむね0.5メートル以上の間隔を保たず又は保とうとしないとき。[不]</p> <p>2 停止している車両に追いついて停止した場合に、前車とおおむね1.5メートル以上の距離を保たず又は保とうとしないとき。[前]</p>	<p>やむを得ない状況のため必要な間隔を保てない場合（立体障害物設置基準によるものを含む。）で、通過速度が速いときは、 [速過ぎ大] 又は [速過ぎ小] を適用する。</p>
<p>脱 輪</p>	<p>小</p>	<p>10</p>	<p>5</p>	<p>1 脱輪した車輪の数ごとに適用する。ただし、前二輪又は後二輪が同時に脱輪した場合は一輪として適用する。</p>
<p></p>	<p>中</p>	<p>—</p>	<p>20</p>	<p>2 [中] に該当した場合は、直ちに脱輪前の地点まで復帰するように現場で再指示する。この場合において、脱輪した車輪によるおおむね同一場所での再脱輪は適用しない。</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>1 場内コースにおいて四輪車で縁石に車輪を乗り上げ又はコース外に落輪した地点からおおむね1.5メートル以上走行した場合（隘路への進入の課題を除く。）</p> <p>2 場内コースの隘路への進入の課題において、走行線から車輪の接地面部の一部が逸脱した場合又はおおむね90度車体の向きを変えた後に切り返し範囲を逸脱し</p>	<p></p>

	大	危	危	<p>た場合</p> <p>3 歩道、島状の施設を有する安全地帯、分離帯等の工作物に車輪を乗り上げ若しくは側溝等に落輪した場合又はそれらに乗り上げ若しくは落輪するおそれがある場合</p> <p>4 二輪車で縁石に車輪を乗り上げ若しくはコース外に落輪した場合又は直線狭路台から落輪した場合若しくは波状路コースから車輪が逸脱した場合</p>	
接 触	小	—	20	<p>場内コースに設置した障害物等に車体（後写鏡等並びに二輪車にあつてはバンパー及び運転者の身体を含む。次項において同じ。）が軽く接触した場合</p>	<p>左欄 [大] 第2項については、停車位置に合わせるための切り返しについては適用しない。</p>
	大	危	危	<p>1 場内コースに設置した障害物等に車体が強く接触した場合若しくは接触するおそれがある場合又は四輪車で軽く接触し接触状態のまま走行を継続し若しくは継続しようとした場合</p> <p>2 「路端における停車及び発進」の課題において、停車位置に合わせた後に切り返し等のために車体の先端が停車位置目標のポールよりも後方となった場合又は後退して発進した場合</p> <p>3 歩行者、車両等又は建造物等に車体が接触するおそれがある場合</p>	
路側帯進入 [路側帯]		20	—	<p>路側帯に車体が入り又は入ろうとした次の場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合又は対向車との行き違いのためやむを得ない場合で、かつ、歩行者若しくは軽車両の通行を妨げるおそれのないときは適用しない。(17・47)</p> <p>1 車体の一部が入って通行し又は通行しようとしたとき。</p> <p>2 停車及び駐車の禁止された路側帯又は幅員がおおむね0.75メートル以下の路側帯に、車体の一部が入って停車し若しくは停車しようとしたとき又は駐車し若しくは駐車しようとしたとき。</p>	
				<p>1 通行の区分が指定されていない車両通行帯において、その最も右側の車両通行帯を通行し又は通行しようとした場合。ただし、路線バス等優先通行帯の直近の右側を通行する場合又は法令の除外規定に該当する場合には適用しない。[右端](20)</p> <p>2 通行の区分が指定されている車両通行帯を、指定された通行の区分によらないで通行し又は通行しようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合に</p>	<p>1 適用後注意を与える。</p> <p>2 車両通行帯が設けられている道路で試験車からおおむね500メートル（場内では50メートル）以内に駐車障害又は左側の一番目の車両通</p>

<p>通行帯違反 [通行帯]</p>	<p>10</p>	<p>5</p>	<p>は適用しない。[区分](20)</p> <p>3 直線路又はカーブで車両通行帯から車体の一部がはみ出したまま通行をした場合[線]</p> <p>4 三以上の車両通行帯が設けられた道路の左から一番目以外(最も右側を除く。)の車両通行帯をその道路の最高速度よりおおむね5キロメートル毎時以上遅い速度で通行し、そのため他の自動車の通行を妨げることとなる場合 [低速](20)</p>	<p>行帯に障害物等がある場合は、その駐車車両又は障害物等の側方を通過するまでの間を左側から一番目以外の車両通行帯を通行してもこの細目は適用しない。</p> <p>3 交差点までの距離がおおむね500メートル(場内では50メートル)以内のところで連続右折する場合は、最も右側の車両通行帯を通行しても適用しない。</p> <p>4 カーブで [速過ぎ大]又は[ふらつき大]のため車両通行帯からはみ出した場合は、この細目によらず原因となった細目を適用する。</p> <p>5 左欄第4項を適用した場合は [課題外速度]は適用しない。</p>
<p>追いつかれ 義務違反 [追いつかれ]</p>	<p>10</p>	<p>—</p>	<p>1 追いついた車両が試験車の追越しを終わらないうちに試験車が速度を増した場合[増速](27)</p> <p>2 車両通行帯が設けられていない道路の中央(一方通行となっているときは道路の右側端)との間に追いついた車両が通行するのに十分な余地がない場合に、できるだけ道路の左側端に寄ってこれに進路を譲らないとき。ただし、追いついた車両が明らかにその道路の最高速度より速い速度の場合には適用しない。[避譲](27)</p>	<p>左欄第2項のただし書に該当した場合には適用しないで注意を与える。</p>
<p>バス等優先 通行帯違反 [バス等優先]</p>	<p>10</p>	<p>—</p>	<p>1 路線バス等優先通行帯から出ることができないおそれがあるにもかかわらず、路線バス等が後方から接近してきた場合に、そこへ入り又は入ろうとしたとき。[入](20の2)</p> <p>2 後方から路線バス等が接近してきた場</p>	<p>法令の除外規定に該当する場合は適用しない。</p>

			合に、すみやかに路線バス等優先通行帯の外に出ようとしないとき。[出](20の2)	
軌道敷内違反 [軌道敷内]	10	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 軌道敷内を通行し又は通行しようとした場合。ただし、右左折、横断若しくは転回するため軌道敷を横切るとき又は危険防止のためやむを得ないときは適用しない。[通](21)</li> <li>2 軌道敷内を通行することができることになっている場合に軌道敷内を通行することによって、路面電車の通行を妨げるおそれがあるとき又は後方から路面電車が接近してきたが速やかに軌道敷外に出ないとき又は必要な距離を保たないとき。[内](21)</li> </ol>	
右側通行	危	危	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路の中央から右の部分（以下「右側部分」という。）を通行し又は通行しようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合は適用しない。[区分](17)</li> <li>2 道路の中央から左の部分（以下「左側部分」という。）の幅員が6メートル未満で、道路の右側部分を見とおすことができない場合又は反対方向からの交通を妨げるおそれがある場合に、追い越そうとして道路の右側部分にはみ出し又ははみ出そうとしたとき。[追越し](17)</li> <li>3 道路標識等により追越しのため道路の右側部分にはみ出して通行することを禁止している道路で、追越しのため道路の右側部分にはみ出し又ははみ出そうとした場合 [はみ禁](17)</li> <li>4 道路の左側を通行している歩行者、特定小型原動機付自転車、軽車両又は障害物を避けようとして、反対方向からの交通を妨げるおそれがある場合に、道路の右側部分にはみ出し又ははみ出そうとしたとき。[障害]</li> </ol>	法令の規定により道路の右側部分に車体の全部又は一部をはみ出して通行することができる場合であっても、そのはみ出し方が必要以上に大きいとき〔側方間隔〕又は〔安全間隔〕で必要とする間隔のおおむね2倍以上あけてはみ出したとき。）はこの細目の左欄第1項を適用する。
安全地帯等進入 [安全地帯等]	危	危	安全地帯（島状の施設のものを除く。）又は立入り禁止部分に入り又は入ろうとした場合(17)	
[狭路変更]	—	5	<p>狭路コース（縦列駐車コースを除く。）へ左折しようとした次の場合(34)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 進路変更を全くしないとき。[しない]</li> <li>2 進路を変えたが、道路の左側端からおおむね1メートル以上離れているとき。[離]</li> <li>3 進路を変え終わったのが、狭路コースの入口からおおむね30メートル未満のとき。[遅]</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 この細目の適用は、1回の左折又は右折について、左欄各項又は各号のうちいずれか1回とする。</li> <li>2 コースの規模又はコースの設</li> </ol>

進路変更違反	[交差点変更]	10	5	<p>4 狭路コースの入口の直前で右へハンドルを操作したとき。[右振]</p> <p>1 狭路コースの入口及び環状交差点を除く交差点で左折しようとし、道路外へ出るために左折しようとし又は環状交差点で左折、右折、直進若しくは転回しようとした次の場合 (25・34・35の2)</p> <p>(1) 進路変更を全くしないとき又はしようとししないとき。[左しない]</p> <p>(2) 進路を変え終わったのが、交差点の手前又は左折しようとして若しくは環状交差点に入ろうとして道路の左側端に寄っている車両からおおむね30メートル未満のとき。[左遅]</p> <p>(3) 左折 (環状交差点における左折を除く。) する直前又は環状交差点に入る若しくは出る直前で右へハンドルを操作したとき。[右振]</p> <p>(4) 二輪車で進路を変えたが、道路の左側端からおおむね1メートル以上離れているとき。[二輪離]</p> <p>2 環状交差点を除く交差点で右折又は道路外へ出るために右折しようとした次の場合 (25・34)</p> <p>(1) 進路変更を全くしないとき又はしようとししないとき。[右しない]</p> <p>(2) 進路を変え終わったのが、交差点の手前又は右折しようとして道路の中央 (一方通行となっている道路においては道路の右側端) に寄っている車両からおおむね30メートル未満のとき。[右遅]</p> <p>(3) 右折する直前に、左へハンドル操作をしたとき。[左振]</p> <p>(4) 進路を変えたが、道路の中央からおおむね0.5メートル (一方通行となっている道路においては道路の右側端からおおむね1メートル) 以上離れているとき。[右離]</p> <p>3 転回 (環状交差点における転回を除く。) をする直前に、左へハンドル操作をしたとき。[左振]</p>	<p>定方法により、進路を変える地点をおおむね30メートル以上手前とすることが無理な場合は、おおむね15メートル以上手前で進路を変え終われば左欄 [狭路変更] 第3項及び[交差点変更] 各項第2号は適用しない。</p> <p>3 進行方向別通行区分に従って右左折する場合はこの減点細目は適用しないものとし、これに違反した場合は [方向別通行] を適用する。</p> <p>4 四輪車が狭路コース入口及び環状交差点を除く交差点で左折するため並びに環状交差点で左折、右折、直進又は転回するため進路を変えたが道路の左側端からおおむね1メートル以上離れている場合は、[巻き込み (離)] を適用し、この細目は適用しない。ただし、左欄第1項の各号に該当した場合には、それらを適用し、[巻き込み (離)] は適用しない。</p>
		20	10	<p>1 みだりに進路を変えた場合 [みだり] (26の2)</p> <p>2 進路変更禁止の場所で、その道路標示を越えて進路を変え又は変えようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合は適用しない。[標示] (26の2)</p>	

後車妨害	危	危	<p>1 後方から進行してくる車両の速度又は方向を急に變更させることとなるおそれがある場合に、進路を変え又は変えようとしたとき。[妨害](26の2)</p> <p>2 進路を変えることができるにもかかわらず、その時機を失い進路を変えないため、試験車の後方から進行してくる車両の通行の妨害となり又は妨害となるおそれがある場合 [時機]</p>	路端（縦列駐車を含む。）から発進する場合も適用する。
右左折方法違反 [交差点内]	5	5	<p>1 左折する場合に、交差点（環状交差点を除く。以下第4項までにおいて同じ。）内の道路左側端から、左後車輪（牽引車はトレーラーの左後車輪、後輪操向車は左前車輪、二輪車は後輪）がおおむね1メートル以上離れて通行したとき（道路標識等により通行すべき部分が指定されている場合を除く。）。ただし、交差点のすみ切り半径が3メートル未満の場合は、おおむね1.5メートル以上離れて通行したときとする。[左大回](34)</p> <p>2 右折する場合に、交差点の中心（中心の標示があるときはその標示）の内側から、左前車輪（二輪車は前輪）がおおむね2メートル以上離れて通行したとき（道路標識等により通行すべき部分が指定されている場合を除く。）。[右斜](34)</p> <p>3 右折する場合に、交差点の中心（中心の標示があるときはその標示）の外側を右前車輪（二輪車は後輪）が通行したとき（道路標識等により通行すべき部分が指定されている場合を除く。）。[右外](34)</p> <p>4 右左折する場合に、交差点の道路標識等により指定された通行すべき部分から、本来であれば最も近いこととなる前車輪がおおむね2メートル以上離れて通行したとき。[標示](34)</p> <p>5 環状交差点内の環状部分の側端から、左前車輪（二輪車は前輪）がおおむね2メートル以上離れて通行した場合又は環状交差点に入る場合若しくは出る場合に、環状交差点の側端から、左後車輪（牽引車はトレーラーの左後車輪、後輪操向車は左前車輪、二輪車は後輪）がおおむね1メートル以上離れて通行したとき（道路標識等により通行すべき部分が指定されている場合を除く。）。ただし、環状交差点のすみ切り半径が3メートル未満の場合は、おおむね1.5メートル以上離れて通行したときとする。[環状](35の2)</p> <p>6 環状交差点において、道路標識等によ</p>	<p>1 左折する場合に正常な走行軌跡からはずれて、進行方向の通行帯のない中央線若しくは左から一番目の車両通行帯から車体の一部がはみ出したとき又は右折する場合に、正常な走行軌跡からはずれて交差道路外へ車体の一部がはみ出したときは、[ふらつき小]第1項第2号を適用する。ただし、交差点の形態又は車体の大きさ等のためやむを得ない場合には適用しない。</p> <p>2 左欄第5項及び第6項の適用は、環状交差点ごとにそれぞれ1回とする。</p>

			り指定された通行すべき部分から、本来であれば最も近いこととなる前車輪がおおむね2メートル以上離れて通行した場合[環状標示](35の2)	
安全進行違反 [安全速度]	10	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交差点に入ろうとし又は交差点内を通行する場合に、交差点の状況に応じてできる限り安全な速度と方法で進行しないとき。ただし、環状交差点を除く交差点において、優先道路又は明らかに幅員の広い道路を通行しているときは適用しない。(36・37の2)</li> <li>2 黄信号になる前に交差点を通過しようとして交差点の手前から速度を増した場合</li> </ol>	環状交差点を除く交差点を右左折する場合に速度が速過ぎるときは[徐行(右左折)]を、環状交差点に入る場合又は環状交差点において右折、左折、直進若しくは転回する場合に速度が速過ぎるときは[徐行(環状)]を適用する。
課題不履行	10	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「路端への停車及び発進」の課題において、技量未熟のため停車できない次の場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 指定場所による停車で、停車できないとき。[指定]</li> <li>(2) 直前合図による停車で、停車できないとき。[直前]</li> </ol> </li> <li>2 「転回」の課題において、試験官に指示された区間内で技量未熟のため転回できないとき。[転回]</li> </ol>	
徐行違反 [徐行]	20	20	<p>次の場合(場所)で、徐行せず又は徐行しようとしないうとき。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全地帯に停車中の路面電車に追いついて、その左側を通過するとき。[電車](31)</li> <li>2 路面電車から1.5メートル以上の間隔を保つことができる場合で、乗降する者がいない停車中の路面電車に追いつき、その左側を通過するとき。[電車](31)</li> <li>3 環状交差点を除く交差点を右折又は左折(道路外へ出る場合を含む。)するとき。[右左折](25・34)</li> <li>4 環状交差点に入ろうとするとき又は環状交差点において右折、左折、直進若しくは転回するとき。[環状](35の2・37の2)</li> <li>5 交通整理の行われていない優先道路に入ろうとするとき。[優先路](36)</li> <li>6 交通整理の行われていない幅員が明らかに広い道路に入ろうとするとき。ただし、試験車が優先道路を通行しているときは適用しない。[広路](36)</li> <li>7 道路標識等による徐行指定場所を通行するとき。[標識](42)</li> </ol>	ここでいう徐行とは、その場合の状況に適した安全な速度とし、[速過ぎ小]でいう安全速度と同じ。

			<p>8 左右の見とおしのきかない交差点に入ろうとし又は交差点内で左右の見とおしがきかない部分を通行しようとするとき。ただし、交通整理が行われているとき又は試験車が優先道路を通行しているときは適用しない。[見通](42)</p> <p>9 道路の曲がり角付近を通行するとき。[角](42)</p> <p>10 上り坂の頂上付近を通行するとき。[頂](42)</p> <p>11 勾配の急な下り坂を通行するとき。[坂](42)</p>	
進行方向別通行 区分違反 [方向別通行]	20	10	<p>交差点で進行する方向に関する通行の区分が指定されている場合に、その指定区分によって通行せず又は通行しようとしないうとき。ただし、法令の除外規定に該当する場合には適用しない。(35)</p>	<p>この細目の適用時機は、進行方向別通行区分についての道路標識等が最初に示されている付近とする。</p>
交差点等進入 禁止違反 [進入禁止]	20	20	<p>1 前方の車両等の状況により交通整理が行われている交差点内で試験車が停止することになり、そのため交差道路における車両等の通行の妨害となるおそれが明らかな場合に、交差道路に入り又は入ろうとしたとき。[交差](50)</p> <p>2 前方の車両等の状況により横断歩道若しくは自転車横断帯又は道路標示による停止禁止部分で停止することが明らかな場合に、その部分に入り又は入ろうとしたとき。[横歩・標示](50)</p> <p>3 黄色の信号が表示された場合に、試験車が法令に定められた停止位置に近接しているため安全に停止することができないにもかかわらず、横断歩道又は自転車横断帯(以下「横断歩道等」という。)における歩行者若しくは自転車の通行の妨害となるおそれがある場所に停止したとき又は交差道路における車両等の通行の妨害となるおそれがある場所に停止したとき。ただし、直ちに横断歩道外若しくは自転車横断帯外又は車両等の通行の妨害とならない場所に移動した場合には適用しない。[黄信号]</p>	<p>1 左欄第3項の安全に停止することができない距離の目安は、その時の速度からおおむね15を減じた数字をメートルに読み替えた距離以下とする。</p> <p>2 左欄第3項で無理に停止しようとして急ブレーキになった場合は[急ブレーキ]を適用する。</p>
信号無視 [信号]	危	危	<p>1 赤色の信号(赤色の点滅を含む。)が表示された場合に、法令に定められた停止位置を車体の一部が越え又は越えようとしたとき。[赤出](7)</p> <p>2 黄色の信号が表示された場合に、安全に停止できるにもかかわらず、法令に定められた停止位置を車体の一部が越え又は越えようとしたとき。[黄出](7)</p>	

<p>優先判断不良 [優先判断]</p>	<p>20</p>	<p>10</p>	<p>他の車両等の進路の前方に出又は出ようとしたため、進行妨害に至らない程度で他の車両等に速度を減じさせ、停止させ若しくは方向を変えさせるなどの迷惑を及ぼし又は及ぼそうとした次の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通整理の行われていない交差点において、交差道路を左方から進行してくる車両等に対するとき。ただし、試験車が優先道路又は交差道路より明らかに幅員の広い道路を通行している場合には適用しない。[左方]</li> <li>2 交通整理の行われていない交差点において、優先道路である交差道路を通行する車両等に対するとき。[優先路]</li> <li>3 交通整理の行われていない交差点において、明らかに幅員の広い道路である交差道路を通行する車両等に対するとき。ただし、試験車が優先道路を通行している場合には適用しない。[広路]</li> <li>4 環状交差点を除く交差点で右折する場合に、直進し又は左折しようとする車両等に対するとき。[右折]</li> <li>5 環状交差点に入ろうとするときに、環状交差点内を通行する車両等に対するとき。[環状]</li> <li>6 道路標識等による一時停止の指定場所で発進後に交差道路を通行する車両等に対するとき。[一停]</li> </ol>	<p>進路を譲る場合に、相手車両の発進又は進行を促すため手によるサイン等をしないときは注意を与える。 進路を譲られたときも同様とする。</p>
<p>進行妨害</p>	<p>危</p>	<p>危</p>	<p>進行妨害をし又は進行妨害をするおそれがある次の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通整理の行われていない交差点において、交差道路を左方から進行してくる車両等に対するとき。ただし、試験車が優先道路又は交差道路より明らかに幅員の広い道路を通行している場合には適用しない。[左方](36)</li> <li>2 交通整理の行われていない交差点において、優先道路である交差道路を通行する車両等に対するとき。[優先路](36)</li> <li>3 交通整理の行われていない交差点において、明らかに幅員の広い道路である交差道路を通行する車両等に対するとき。ただし、試験車が優先道路を通行している場合には適用しない。[広路](36)</li> <li>4 環状交差点を除く交差点で右折する場合に、直進し又は左折しようとする車両等に対するとき。[右折](37)</li> <li>5 環状交差点に入ろうとするときに、環状交差点内を通行する車両等に対するとき。[環状](37の2)</li> <li>6 道路標識等による一時停止の指定場所で発進後に交差道路を通行する車両等に対するとき。[一停](43)</li> </ol>	

横断等禁止違反 [横断等禁止]	危	危	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 他の車両等（特定小型原動機付自転車及び自転車を除く。）の正常な交通を妨害するおそれがある場合に、道路外の施設若しくは場所に入り出すために右左折し、横断し、転回し若しくは後退した場合又はしようとした場合 [妨害] (25の2)</li> <li>2 道路標識等により横断、転回若しくは後退が禁止されている道路の部分において、当該禁止された行為をした場合又はしようとした場合 [標識] (25の2)</li> </ol>	
指定場所不停止 [一時不停止]	危	危	道路標識等による一時停止の指定場所で、停止線（停止線が設けられていない場合は交差点）の直前で停止しない場合(43)	車体の一部が停止線を越え又は交差点に入って停止した場合にも適用する。
泥はね運転	10	10	ぬかるみ又は水たまりを通行する場合に、泥土又は泥水等を飛散させて他人に迷惑を及ぼすこととなる時。(71)	迷惑を及ぼす直前に注意を正して適用する。ただし、試験官補助は適用しない。
横断者保護違反 [横断者保護]	20	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横断歩道等を通る際に、進路の前方を横断し又は横断しようとしている歩行者又は自転車（以下「歩行者等」という。）のいないことが明らかでないにもかかわらず、その横断歩道等に接近した場合に、横断歩道等の直前（停止線が設けられているときはその直前）で停止できるような速度で進行せず又は進行しようとしないうち。(38)</li> <li>2 横断歩道等及びその手前の側端から前に30メートル以内で、前方を進行している他の車両等（特定小型原動機付自転車及び軽車両（以下「特定小型原動機付自転車等」という。）を除く。）の前方に出るため、追越しによらないでその側方を通過し又は通過しようとした場合。ただし、信号機の表示等により歩行者等の横断が禁止されている場合には適用しない。[追抜] (38)</li> <li>3 歩行者がいる安全地帯の側方を通過する場合に徐行せず又は徐行しようとしないうち。(71)</li> </ol>	
			<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路外の施設若しくは場所に入り出すため歩道若しくは路側帯を横断する場合又は路側帯に駐停車する場合に、歩道若しくは路側帯の直前で一時停止せず又は一時停止しようとしないうち。(17)</li> </ol>	

歩行者保護  
不停止等  
[歩行者保護]

危 一

- 2 歩行者、特定小型原動機付自転車又は自転車の正常な通行を妨害するおそれがある場合に、道路外の施設若しくは場所に出入りするために右左折し、横断し、転回し、若しくは後退したとき又はしようとしたとき。[妨害](25の2)
- 3 安全地帯がある場合又は乗降する者がいない路面電車の左側から1.5メートル以上の間隔を保つことができる場合を除き、乗客が乗降を終わり又は当該路面電車から降りた者で試験車の前方を横断しようとしてしている者がいなくなるまで、路面電車の後方で停止しようとしていないとき。[乗客](31)
- 4 試験車が横断歩道等の手前おおむね5メートル手前に到達することになり、かつ、歩行者等が横断歩道等（試験車を中心としておおむね左右各5メートルの範囲内をいう。）に立ち入ることが予測される場合に、横断歩道等の直前（停止線が設けられている場合はその直前）で一時停止せず又は一時停止しようとしないうとき。[進路](38)
- 5 横断歩道等又はその手前の直前で停止している車両等がある場合に、その側方を通過して前方に出る前に一時停止せず又は一時停止しようとしないうとき。ただし、信号機の表示等により歩行者等の横断が禁止されている場合又は歩行者等を横断させるために停止しているものでないことが明らかな車両等の側方を通過する場合には適用しない。[停車](38)
- 6 横断歩道等のない場所において、歩行者等が道路を横断している場合に、その歩行者等の通行を妨げることとなるとき。[横断]
- 7 身体障害者用の車が通行している場合、目が見えない者が道路交通法施行令（昭和35年政令第270号。以下「政令」という。）第8条第1項で定めるつえを携え、若しくは同条第2項で定める盲導犬を連れて通行している場合、又は耳が聞こえない者若しくは同条第4項で定める程度の身体の障害がある者が同条第1項で定めるつえを携えて通行している場合に、一時停止若しくは徐行せず又は一時停止若しくは徐行しようとしないうとき。[身](71)
- 8 監護者が付き添わない児童若しくは幼児又は高齢者が歩行している場合に、一時停止若しくは徐行せず又は一時停止若しくは徐行しようとしないうとき。  
[老](71)
- 9 児童等の乗降のため停車している通学

			通園バスの側方を通過する場合に徐行せず又は徐行しようとしないうち。 [園バス](71)	
安全間隔不保持 [安全間隔]	危	危	1 歩行者、特定小型原動機付自転車又は軽車両の側方を通過する場合に、次の間隔を保たないとき又は保とうとしないうち。 [間隔](18) (1) 歩行者、特定小型原動機付自転車又は軽車両が試験車を認知していることが明らかな場合はおおむね1メートル以上 (2) 歩行者、特定小型原動機付自転車又は軽車両が試験車を認知していないおそれがある場合はおおむね1.5メートル以上 2 上記の間隔を保てない場合に、徐行せず又は徐行しようとしないうち。[徐行](18)	所定の間隔を保つことができない状況のため徐行した場合でも、危険なときは適用する。
踏切内変速	5	5	踏切を通過中(車体のおおむね2分の1以上が踏切から出ないうち)に変速操作を始めた場合	AT車を除く。
駐車措置違反 [駐車措置]	5	5	到着点において、次の措置をしないで下車した場合 1 ハンド(駐車)ブレーキをかけないとき。[手B](71) 2 エンジンスイッチを切らないとき。 [スイッチ](71) 3 ギアをリバース又はロー(AT車はPレンジ。)に入れないとき。ただし、二輪車及び大特車には適用しない。[ギア](71) 4 大特車を駐車状態にする場合に、作業機具を接地しないとき。[機具]	1 適用後注意を与える。 2 左欄第4項は、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)第151条の11・第160条による。
警音器使用制限違反等 [警音器]	10	10	1 みだりに警音器を鳴らした場合(54) 2 道路標識等により指定された場所で、警音器を鳴らさない場合(54)	
急ブレーキ禁止違反 [急ブレーキ]	10	10	後続車に追突されることとなるような減速若しくは停止をした場合又はおおむね0.4Gを超える強い加速度を生ずるブレーキをかけた場合。ただし、前車が急ブレーキをかけた場合又は他の交通による急迫した侵害を受けた場合には適用しない。(24)	1 第二種免許においては、加速度の基準を0.3Gとする。 2 安全運転支援装置が警報を発したため(誤作動した場合を含む)、受験者が急ブレーキをかけた場合も適用する。

車間距離不保持 [車間距離]	10	10	他の車両等の直後を進行する場合に、その直前の車両等が急に停止した場合でもこれに追突するのを避けられるように、直前の車両等との間に安全な距離を保たないとき。(26)	安全な距離とは、試験車の速度からおおむね15を減じた数字をメートルに読み替えた距離以上とする。
駐停車方法違反 [駐停車方法]	10	5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発着点に駐停車する場合又は路端へ駐停車する場合に、道路の左側端から車体がおおむね0.3メートル以上離れているとき。[離](47)</li> <li>2 幅員がおおむね0.75メートル以上の路側帯（駐停車禁止のもの及び歩行者用のものを除く。）のある道路で駐停車する場合に、法令に規定する方法以外の方法で駐停車し又は駐停車しようとしたとき。[路側帯](47)</li> <li>3 発着点に駐停車する場合又は路端へ駐停車する場合に、道路の左側端（路側帯のある道路では当該路側帯を区画している道路標示）からの距離が、最前輪と最後輪の中心部に位置する車体部分においておおむね0.3メートル以上の差がある場合 [平行](47)</li> </ol>	「路端における停車及び発進」の課題における左欄第1項及び第3項の適用は、初回の停車時のみとする。
緊急車妨害	20	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交差点又はその付近において、サイレンを鳴らし赤色の警光灯をつけた緊急自動車（消防用車両を含む。以下同じ。）が接近してきた場合に、交差点を避け、かつ、道路の左側（一方通行となっている道路では、左側に寄ることが緊急自動車の通行を妨げることとなる場合は道路の右側。次項も同じ。）に寄って、一時停止せず又は一時停止しようとしないうとき。(40・41の2)</li> <li>2 交差点又はその付近以外の場所において、緊急自動車接近してきた場合に、道路の左側に寄って進路を譲らないとき。(40・41の2)</li> </ol>	
合図車妨害	20	20	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 左折若しくは右折（道路外に出るための右左折を含む。）しようとする車両又は交差点で進行方向別通行区分の指定に従うため進路を変更しようとする車両が、そのための合図をした場合に、その合図をした車両の進路の変更を妨げ又は妨げようとしたとき。ただし、その後方にある試験車が速度又は方向を急に變更しなければならぬこととなる場合には適用しない。[進路](25・34・35)</li> <li>2 停留所において、乗客の乗降のため停車していたバスが、発進するため進路を変えようとして合図をした場合に、その</li> </ol>	

			<p>バスの進路の変更を妨げ又は妨げようとしたとき。ただし、その後方にある試験車が速度又は方向を急に変更しなければならないこととなる場合には適用しない。[バス](31の2)</p>	
速度超過	20	20	<p>道路標識等により最高速度が指定されている道路ではその最高速度、その他の道路では政令第11条に定める最高速度又は場内試験では速度指定区間の指示速度をそれぞれ超過した場合(22)</p>	
踏切不停止等 [踏切不停止]	危	危	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 踏切の直前（停止線が設けられている場合は停止線の直前）から、おおむね2メートル未満手前までの範囲で停止せず又は停止しようとしめない場合。ただし、信号機の表示する信号に従う場合には適用しない。[手前](33)</li> <li>2 踏切の遮断機が閉じようとし若しくは閉じている間又は踏切の警報機が鳴っている間に踏切に入り又は入ろうとした場合[立入](33)</li> <li>3 前方の車両等の状況により踏切内で停止することとなるおそれがある場合に踏切に入り又は入ろうとしたとき。[内](50)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 車体の一部が踏切内に入り又は踏切の手前の停止線を超えて停止した場合にも左欄第1項を適用する。</li> <li>2 踏切の直前で停止したが、発進後踏切内に車体の一部が入って停止（エンストを含む。）した場合も左欄第3項を適用する。</li> </ol>
追越し違反 [追越し]	危	危	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 車両通行帯の設けられた道路又は道路標識等によって車両通行帯の通行区分を指定されている道路で追越しをする場合に、試験車の通行している車両通行帯の直近の右側の車両通行帯を通行せず又は通行しようとしめないとき。(20)</li> <li>2 他の車両を追い越そうとする場合に、その左側を通行し又は通行しようとしたとき。(28)</li> <li>3 前車が右折するため、道路の中央又は右側端に寄って通行している場合に、追越しのためその右側を通行し又は通行しようとしたとき。(28)</li> <li>4 追越しをしようとする場合に、反対の方向又は後方からの交通及び前車の前方の交通に注意せず、かつ、前車の速度及び進路並びに道路状況に応じた安全な速度と方法によらないで進行し又は進行しようとしたとき。(28)</li> <li>5 前車が他の自動車を追い越そうとしている場合に、追越しを始め又は始めようとしたとき。(29)</li> <li>6 次に掲げる場所で、他の車両（特定小型原動機付自転車等を除く。）を追い越すため、進路を変更し若しくは変更しよ</li> </ol>	

			<p>うとした場合又は前車の側方を通過し若しくは通過しようとした場合 (30)</p> <p>(1) 道路標識等により追越しが禁止されている場所</p> <p>(2) 道路の曲がり角付近、上り坂の頂上付近又は勾配の急な下り坂</p> <p>(3) トンネル。ただし、車両通行帯が設けられている場合には適用しない。</p> <p>(4) 交差点及び交差点の手前の側端から前に30メートル以内の部分。ただし、優先道路を通行している場合には適用しない。</p> <p>(5) 踏切又は横断歩道等及びこれらの手前の側端から前に30メートル以内の部分</p>	
割込み	危	危	<p>法令の規定、警察官の命令若しくは危険を防止するため、停止若しくは停止しようとして徐行している車両等又はこれらに続いて停止若しくは徐行している車両等に追いついた場合に、その前方に割り込み若しくは割り込もうとし、又は前方を横切り若しくは横切ろうとしたとき。(32)</p>	
安全運転義務違反 [安全義務]	危	危	<p>ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び試験車の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転をしようとしなため、試験官がハンドル、ブレーキその他の操作を補助し又は是正措置を指示した場合(70)</p>	
安全運転意識 [安全意識]	10	—	<p>他の減点細目には該当しないが、他の交通に迷惑を与えたり、危険を及ぼしたりする次のような場合 (例示)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通の流れの中で、他の車両の走行位置と比較して必要以上に道路の左側端又は中央線（車両通行帯がある場合は、その左右の車両通行帯境界線）に寄って継続して通行することにより周囲の車両に不安感を与えるような場合</li> <li>2 交差点等で右折しようとして道路の中央線に寄り停止したときに、車体が中央線に沿わないで斜めに停止したため後続車の進行を著しく妨害した場合</li> <li>3 前方道路が渋滞している場合に、道路外の左方から発進しようとしている車両の進路を妨げて停車したとき。</li> <li>4 走行経路を間違えた場合に、交差点手前でブレーキを踏んだため他の車両に迷惑をかけたとき。</li> </ol>	<p>この細目の適用にあたっては、明らかに他の交通に迷惑を与えたり危険を及ぼしたりした場合に限って適用するものとし、安全に運転しようとする意識が著しく欠けるものを対象とする。</p>
			危険を回避するために安全運転支援装置	1 場内コースに

警 報	10	10	<p>が事前警報を発したが、受験者の回避操作により安全運転支援装置の作動にまで至らなかった場合</p>	<p>おける狭路コース走行中の立体障害物に対するものを除く。</p> <p>2 受験者が回避操作を行わなかったため、安全運転支援装置が作動した場合は、試験官補助を適用する。</p>
駐停車違反	20	—	<p>道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び次に掲げる道路の部分で、停車若しくは駐車をし又は停車若しくは駐車をしようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合には適用しない。(44)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 交差点、横断歩道、自転車横断帯、軌道敷内、坂の頂上付近、勾配の急な坂又はトンネル</li> <li>2 交差点の側端又は道路の曲がり角から5メートル以内の部分</li> <li>3 横断歩道等の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内の部分</li> <li>4 安全地帯の左側の部分及びその部分の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分</li> <li>5 バスの停留所又は路面電車の停留場を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から10メートル以内の部分</li> <li>6 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分</li> </ol>	
駐車違反	10	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路標識等により駐車が禁止されている道路の部分及び次に掲げる道路の部分で駐車をし又は駐車をしようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合には適用しない。(45) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人の乗降、貨物の積卸し、駐車又は自動車の格納若しくは修理のため道路外に設けられた施設又は場所の道路に接する自動車用出入口から3メートル以内の部分</li> <li>(2) 道路工事が行われている場合における当該工事区域の側端から5メートル以内の部分</li> <li>(3) 消防用機械器具の置場等の側端又はこれらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分</li> <li>(4) 消火栓等の標識又は消防用防火水槽の吸水口等から5メートル以内の部分</li> <li>(5) 火災報知機から1メートル以内の部分</li> </ol> </li> </ol>	

			2 右側の道路上に3.5メートル以上の余地がないこととなる場所で駐車し又は駐車しようとした場合。ただし、法令の除外規定に該当する場合には適用しない。 (45)
通行禁止違反 [通行禁止]	危	—	道路標識等により、その通行が禁止されている道路又はその部分を通行し又は通行しようとした場合(8)

注1 技能試験を実施する場合に使用する成績表のモデルについては、別紙1及び別紙2を参照とすること。

注2 [ ]は、別紙1及び別紙2の技能試験成績表に用いる略称（以下「略称」という。）を示す。

注3 ( )は、法の条名を示す。

注4 減点数欄の○印は、「運転免許技能試験実施基準について（通達）」（令和7年2月28日付け警察庁丙運発第18号。以下「局長通達」という。）第10の1の(2)の「特別減点細目」を示す。

注5 減点数欄の「危」は、局長通達第12の1の「危険行為等」を示す。

注6 減点細目のうち、適用事項に略称が定められているものについては、適用事項ごとに減点するものとする。

別紙1 技能試験成績表〔路上〕

減点項目	減点数		20		10		5	
安全措置 運転姿勢			措置(帯)		特別減点		措置(ドア・鏡・ギア・手B・B・A変速) 四輪姿勢(席・正対・保持・腕・上体・足)	
発進	逆行中		逆行小		エンスト(路上) 発進手間どり(路上)		Aむら(急発・ノック・空転) エンスト(場内)	
速度維持					課題外速度			
合図、 安全確認			不確認(発進・後退・周囲・巻き込み・変更・交差点・環状交差点・後方・踏切・脇見・降車・振出)		発進合図(しない・続・もどし) 変更合図(しない・続・もどし・不適) 右左折合図(しない・続・もどし・不適) 環状合図(しない・続・もどし・不適)			
制動	速過ぎ大(速い・カーブ)		クリープ(路上)、速過ぎ小(速い・カーブ)		エンブレ(坂) クリープ(場内)		エンブレ(断・前後) ブレーキ(構・断・待・停車・不円滑)	
操向			切り返し(路上)、急ハンドル、ふらつき小(S・半)		切り返し(場内)			
車体感覚	側方間隔(移・可・不・前)、脱輪中、接触小		巻き込み(二輪・離)、脱輪小(路上)		停止位置(線・前・後)、脱輪小(場内)			
通行区分	路側帯		通行帯(右端・区分・線・低速)、追いつかれ(増速・避譲)、 バス等優先(入・出)、軌道敷内(通・内)					
進路変更	変更禁止(みだり・標示)		交差点変更(左しない・左遅・右振・右しない・右遅・右離・左振)					
直進、 右左折等	徐行(電車・右左折・環状・優先路・広路・標識・見通・角・頂・坂)、方向別通行、進入禁止(交差・横歩・標示・黄信号)、優先判断(左方・優先路・広路・右折・環状・一停)		安全速度、課題不履行(指・直・転)		交差点内(左大回・右斜・右外・標示・環状・環状標示)			
歩行者保護等	横断者保護(直前速度・追抜・安地)		泥はね運転					
最高速度、 踏切通過、 駐車等	緊急車妨害、合図車妨害(進路・バス)、 速度超過、駐停車違反		警音器、急ブレーキ、車間距離、駐停車方法(離・路側帯・平行)、安全意識、警報、駐車違反		踏切内変速、駐車措置(手B・スイッチ・ギア)			
減点小計								
試験中止							逆行大、発進不能(4回・信号・停止・発進)、暴走、ふらつき大(S・半)、通過不能(4回・路上)、脱輪大、接触大、右側通行(区分・追越し・はみ禁・障害)、安全地帯等、後車妨害(妨害・時機)、信号(赤出・黄出)、進行妨害(左方・優先路・広路・右折・環状・一停)、横断等禁止(妨害・標識)、一時不停止、歩行者保護(歩道・妨害・乗客・進路・停車・横断・身・老・園バス)、安全間隔(間隔・徐行)、踏切不停止(手前・立入・内)、追越し、割込み、安全義務、通行禁止、減点超過、試験官補助(ブレーキ・ハンドル・指示・装置)、指示違反	

別紙2 技能試験成績表〔場内〕

減点数 減点項目	20	10	5
安全措置 運転姿勢		措置(帯) 二輪姿勢(席・ひざ・足・手・指・ひじ・ 着座・立ち(着座)姿勢)	特別減点 措置(ドア鏡・ギア・手B・B・A変速・機具・ スライド) 四輪姿勢(席・正対・保持・腕・上体・足)
発進	逆行中	逆行小	Aむら(急発・ノック・ 空転)、エンスト、 発進手間どり
速度維持		課題速度(区間・急停止)	課題外速度 指定時間過不足(台・連)
合図、 安全確認		不確認(発進・後退・周囲・巻き込み・変更・交差点 ・後方・踏切・脇見・降車・振出)	発進合図(しない・続・もどし) 変更合図(しない・続・もどし・不適) 右左折合図(しない・続・もどし・不適)
制動	速過ぎ大(速い・カーブ)	速過ぎ小(速い・カーブ・波)	エンブレ(坂)、クリープ エンブレ(断・前後) ブレーキ(構・断・待・支・不円滑)
操向	ふらつき大(S・半)	急ハンドル(急・バンク・接地) ふらつき小(S・半・バランス)	切り返し 曲線バランス・屈折バランス 狭路切り返し(曲線・屈折・方向変換・隘路・路端)
車体感覚	側方間隔(移・可・不・前)、脱輪中、接触小		停止位置(線・前・後)、巻き込み(二輪・離)、脱輪小
通行区分			通行帯(右端・区分・線)
進路変更		変更禁止(みだり・標示)	狭路変更(しない・離・遅・右振) 交差点変更(左しない・左遅・右振・二輪離・右しない・ 右遅・右離・左振)
直進、 右左折等	徐行(右左折・優先路・広路・標識・見通・角・頂 ・坂) 進入禁止(交差・横歩・標示・黄信号)	安全速度、方向別通行 優先判断(左方・優先路・広路・右折・一停)	交差点内(左大回・右斜・右外・標示)
歩行者保護等		泥はね運転	
最高速度、 踏切通過、 駐車等	合図車妨害、速度超過	警音器、急ブレーキ、車間距離、警報	踏切内変速 駐車措置(手B・スイッチ・ギア・機具) 駐停車方法(離・平行)
減点小計			
試験中止	逆行大、発進不能(4回・信号・停止・発進)、到達不能、区間超過、暴走、転倒、通過不能(4回・台・連・波・狭)、脱輪大、接触大、右側通行(区分・追越し・ はみ禁・障害)、安全地帯等、後車妨害(妨害・時機)、信号(赤出・黄出)、進行妨害(左方・優先路・広路・右折・一停)、横断等禁止、一時不停止、安全間隔(間隔・ 徐行)、踏切不停止(手前・立入・内)、追越し、割込み、安全義務、減点超過、試験官補助(ブレーキ・ハンドル・指示・装置)、指示違反		